

事業区分	文化芸術事業		育成創造事業				
事業名	鳥取県出身のアーティストによるコンサート こどもの楽園Ⅳ		助成	文化庁			
目的・内容	<p>鳥取県在住・出身のアーティストによって、鳥取県発のコンサートを開催する。そして、鳥取県出身のアーティストの存在を知らしめ、県民の皆様に音楽文化の素晴らしさを啓発し、音楽文化を豊かにするとともに、アーティストたちと共に音楽の喜び(演奏と鑑賞)を作り上げ、感動を共有するものとする。また、クラシックを子どもたちがより身近なものと感じ、その素晴らしさ、楽しさを感じることでできる機会を提供し、親と子が共に文化芸術に触れ合うことを目的とする。</p> <p>【使命】多彩な人材育成とキャリア開発  【事業の柱】鳥取県総合芸術文化祭の連携推進、幅広い人材育成の推進、人材育成のための機会の提供</p>						
開催日時	平成19年11月25日(日)		14:00開演				
会場	鳥取県立県民文化会館		梨花ホール				
入場料・参加費 (友の会)	こども 500円 (設定なし)	中学生～高校生 800円 (設定なし)	おとな2,500円 2,000円				
集客状況	入場者数	1,367席	設定席数	1,294席	集客率	105.6%	
事業費状況	予算額	収入	1,504,000円	支出	7,291,000円	収支比率	21%
	決算額	収入	2,021,900円	支出	7,286,073円	収支比率	28%
来場者アンケート (主なもの)	<p>《コンサートについて》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年同様ののしく観させていただきました。第九はソリストも入れて全部やってほしいです。</li> <li>・演奏者がバイクに乗って舞台上に登場するのは初めて見た。驚いたと共にとてもインパクトがあり良かった。</li> <li>・歴史的なもの、ベートーベンの曲の作られた情景などが良く分かり、笑いあり、一段と心地良い演奏会でした。また語り、振り付けも混じり退屈しない楽しい一刻でした。</li> <li>・素人にもとっても分かりやすく、音を楽しむことができました。驚きをおかせませんでした。クラシックでも子どもが退屈せずどころか、身を乗り出して聞いていました。子どもも、音楽を「やる」ではなく「楽しむ」に変わっていきそうです。</li> <li>・こどもが入場できる音楽のコンサートをもっと多く開催して欲しい。</li> </ul> <p>《会場・設備・係員について》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場が満車で困りました。</li> <li>・音の動物園で並んでいると、列がばらばらにならないよう誘導してくださいました。</li> <li>・空いている席を教えてくださいたり、とても親切でした。</li> </ul>						
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①県内出身のアーティストの活躍の場と子どもたちへの音楽入門案内が上手にミックスされて子供たちにも好評をもって受け入れられたコンサートとなった。</li> <li>②プロデューサーによる2年目の事業となり、内容や集客などに昨年以上の成果を残せた。</li> </ol> <p>[課題]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①音の動物園の待ち時間が長く、また、案内が不十分だった。</li> <li>②送迎バスに関しては、お客様の要望が多く、今後は事業別の対応も必要ではないだろうか。</li> </ol>						
財団評議員の 評価	<p>[成果]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①演奏会前の体験コーナーは、こどものみならず親の満足度が高い公演と考えられる。</li> <li>②回を重ねることにより、良さが県民の間に浸透してくると思う。</li> </ol> <p>[課題]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①設定席数を満たすだけでなく、多くの子どもたちが参加する機会を提供する事を考えてほしい。</li> <li>②アーティストの育成について将来的な展望を示す必要があるのではないかと。県出身のアーティストのみによる演奏が1曲でもほしかった。</li> <li>③音の動物園に関して、もっと工夫できる部分があると思う。</li> </ol>						
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音の動物園については、案内を増やすとともに、終演時間の印刷物等記載、体験者数に上限を設けるなどを検討し、よりスムーズな運営を行なうよう対応する。</li> <li>・財団としての地元アーティストの活用、育成を検討していく。</li> <li>・駐車場の管理に関しては、総合芸術文化祭実行委員会との連携をはかり、よりスムーズな対応を行なう。</li> <li>・引き続き送迎バスの運行を検討する。</li> </ul>						